

いつまでも健康で住み続けられる、住みたくなるまち

広報とえだ

Soeda
Public
Relations

NOV.2025

11
No.769

第1回 添田小学校運動会

10月25日、添田小学校の運動会が旧添田小学校グラウンドで開催されました。小学校の統合後初めての開催となった運動会のスローガンは「ザ・ファースト 未来へつなげ協力のバトン～新たな仲間と共に～」。3月まで別々の小学校に通っていた仲間と力を合わせ、心をひとつに熱い勝負を繰り広げました。



◎校舎が新しくなって半年、添田中学校の今をお伝えします

教育のひろば

木の温もりあふれる新校舎の運用が始まって半年。添田中学校では、町が目指す「ふるさと添田を愛し、夢希望を実現する人間性豊かな心を持つ子ども」の育成を目指して、小学校と連携しながら、義務教育9年間の系統的な教育活動を進めています。今月は中学校での取組事例を長畑理恵校長が紹介します。

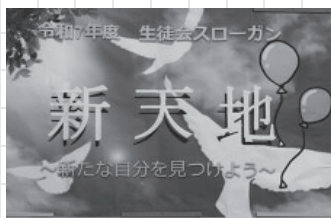
■教育委員会学校教育課学校教育係（☎82・5963）

意欲的に学び、共に高め合う、粘り強い生徒の育成

添田中学校では町の目指す子ども像にある「夢希望を実現する」に着目し、教育目標を「意欲的に学び、共に高め合う、粘り強い生徒の育成」としました。「未来を担う生徒の育成のために」を合言葉に、日々に響く教育の実践を心がけることで、生徒が希望を持って登校し、満足して下校できる学校づくりを教職員一丸となって行っています。この教職員のチーム力が自分の未来を自らの手で切り拓いていける、たくましい生徒の育成につながると考えています。

**新天地
く新たな自分を
見つけよう！**

生徒たちは今年度の生徒会スローガンを「新天地く新たな自分を見つけよう」と決めました。新校舎での生活に夢や希望を抱き、意欲的に学校生活に臨んでいます。生徒たちが満足できる理想の学校生活が送れるよう、教職員はリード・後押し・伴走など生徒個人に必要な対応で応援していきます。



↑昇降口横に掲げられたスローガン

**学びの基礎を固め
思考し表現する力を
伸ばす教育**

基礎学力の定着のきっかけとして、昨年度から漢字や英単語でなく、社会科や理科に関する学習コンクールを取り入れています。まだまだ、取り組み始めたばかりですが、コンクール準備期間には、生徒たちが同じ目標に向かって何度も何度も繰り返し粘り強い様子を目にする事ができました。

また、新しい取り組みの一つとして今年度から到達度テスト前、部活動が休止になる放課後を利用して自主学習時間「添学タイム」を設けています。参加は自由ですが、10月の添学タイムでは約半数の生徒が参加しました。学習はわからない問題を友達に教えてもらったり、一緒に考えたりする「教え合いコース」と、自分のペースで黙々と学習をする「も

**自然や歴史・文化を学ぶ
「体験活動」**

▼1年生
英彦山青年の家周辺が、ここ数年の自然災害により荒れていることから11月に保全活動を行います。青年の家正面の「英彦山」へ続く道に散乱する杉の枝の収集や落葉処理など「ふるさと添田」のために頑張ります！

▼2年生



↑尺八はリコーダーと違いただ吹くだけでは音が出ないことに驚いていました

芸術文化体験の一つで、本物に触れる体験活動として、プロの「箏」と「尺八」の奏者をゲストティーチャーとして招き、生の演奏を聴いた後、実際に箏や尺八の演奏を行いました。

▼3年生

添田町を飛び出して、九州国立博物館に行き、旧石器時代から江戸時代後期までの日本文化の形成過程を学んできます。近くの太宰府周辺の散策も予定しています。

**小学生や異学年との
「交流授業」**

▼生徒会による学習支援
小中交流事業として1学期は中学校生徒会役員が小学2年生の朝の計算時間に採点・計算指導を行いました。合唱コンクールの校内リハーサルを小学生が見学するなどの交流も進んでいます。

▼合唱コンクール

10月10日、オークホールで合唱コンクールを開催しました。学級合唱に加え、異学年交流のブロック合唱、全校合唱などを仲間、保護者に対して一生懸命歌いました。1年生にとっては体育会以来となる上級生との交流。ブロック練習で下級生を引っ張る3年生の姿に憧れを抱き、合唱の完成度に感動し、「自分たちもあんなふうに歌いたい」と意欲を高めていました。



↑圧巻だった3年生の学年合唱。聴衆を感動の渦に巻き込みました

↓話し合いで解決する「教え合いコース」



↑集中して勉強する「もくもくコース」

くもくコース」の2種類を用意。自分でコースを選択、自分の学習の仕方を確立し、基礎学力を定着させ、学び方を発見し、活用能力をつけることを目指しています。

各教科の授業では、定着した基礎学力を利用して思考力・判断力・表現力を育成するような授業の工夫を行っています。特に自分の意見と友達の見解を交流し、考えを深めたり広げたりする学び合いの場を大切にしています。

添田中学校
長畑理恵 校長



**新校舎で育む思いやりと
広がる可能性**

4月から新校舎に移り、半年が経過しました。中学校は小学校と違い統廃合ではなく移転ですが、環境は今までと大きく変化し、最大9歳年齢が離れた子どもが一つの校舎で学校生活を送っています。校舎移転後は生徒たちの表情が明るくなり、体調不良を訴える生徒も減ったように感じます。きれいな校舎を後輩たちに引き継ぐと掃除も一層頑張っているようです。また、登校時などで小学生、特に低学年の児童を優しく気遣う姿を見ることができ、今までの学校生活ではなかなか見つけることが難しかった一面を見せてくれる生徒が多いことに驚いています。座学では教えることが難しい、他者への思いやりを育み人間性を豊かにする情操教育が学校生活の中で自然に行われ、小中学校が同じ校舎にあるメリットを日々感じています。今年は試験的に行った小中学生の連携事業などを来年度に向けブラッシュアップし、児童・生徒の可能性をさらに引き出すことができる教育環境を教職員全員で整えていきます。今後とも、ご支援・ご協力のほど、お願いいたします。



令和6年度 添田町

決算報告

令和6年度一般会計の決算額は、歳入112億1,472万円に対し、歳出は108億8,962万円で、歳入歳出差引額は3億2,510万円となりました。令和6年度から7年度に繰り越した事業の財源である3,580万円を差し引くと、2億8,930万円の黒字決算となりました。

図 役場財政課予算係 (☎82-0350)

令和6年度決算の概要

歳入は小中学校建設事業や公共土木災害復旧事業などに係る国庫支出金および町債が増額となったため、前年度に比べ、11億5,432万円の増額となりました。しかし、自主財源である町税は、前年度に比べ3,275万円の減収となりました。この要因は、個人町民税の納税義務者の減少や所得税および個人町民税の定額減税が影響しています。なお、定額減税の実施に伴う個人町民税の減収分は、地方特例交付金により、全額補填されています。

歳出は、前年度に比べ、11億8,453万円の増額となりました。増加の主な要因は、ひこさんホテル和の営業再開に向けた空調設備などの改修工事や小中学校建設事業における校舎新築工事の事業費の増加によるものです。

経常収支比率の推移

財政の弾力性を判断する経常収支比率は、94.1%となり、前年度に比べ1.9ポイント減少しています。

この減少要因は、ひこさんホテル和の営業再開に伴う指定管理料や大任町し尿処理・じん芥処理・埋立処分施設建設事業費の過疎対策事業償還負担金などの歳出が増加した一方で、普通交付税や地方譲与税などが増加したことなど歳入の経常的一般財源の伸びが歳出を上回ったためです。

特別会計・企業会計

特定の事業を行うために一般会計とは別に設置される特別会計と水道事業の決算は次のとおりです。

区 分	歳 入	歳 出	差引額
国民健康保険事業	11億 8,228万円	10億 2,104万円	1億 6,124万円
後期高齢者医療	2億 304万円	2億 222万円	82万円
住宅新築資金等貸付事業	1,092万円	1,073万円	19万円
バス事業	2,157万円	2,126万円	31万円
水道事業	1億 8,857万円	1億 9,433万円	▲576万円
合 計	16億 638万円	14億 4,958万円	1億 5,680万円

町の財政状況の公表

令和6年度決算に基づく財政の健全化や再生の必要性を判断する健全化判断比率と水道事業会計の経営の健全化を判断する資金不足比率は、いずれも早期健全化及び経営健全化基準の範囲内を保っています。

健全化判断比率	添 田 町	早期健全化基準
実質赤字比率 一般会計などの赤字から財政運営の深刻度をみる比率	— (△7.79%)	15.00%
連結実質赤字比率 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率	— (△16.45%)	20.00%
実質公債費比率 借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率	6.2%	25.0%
将来負担比率 町が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率	— (△67.5%)	350.0%

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字額がなく、将来負担比率は実質的な負債がないため「—」と記載しています。()内は参考に黒字の比率を△(マイナス)で示しています。

資金不足比率	添田町水道事業	経営健全化基準
公営企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率	— (△96.2%)	20.00%

※資金不足が生じていないため「—」と記載しています。()内は参考に剰余金の比率を△(マイナス)で示しています。

経常収支比率	令和6年度	令和5年度
財政の弾力性を判断する指標で数値が小さいほど弾力性がある	94.1%	96.0%

令和6年度 主な事業

◎小中学校校舎更新・再編事業

▶校舎新築事業 34億486万円

令和5年9月から校舎新築工事が始まった添田小中学校は令和7年2月に完成。令和6年度は校舎躯体工事や小学校グラウンド整備工事を行いました



▶再編事業 1億6,376万円

小学校統合に伴うスクールバスの運用や、新しい添田小学校の校歌・校章の作成、児童・生徒が使う木製の机や椅子を整備しました



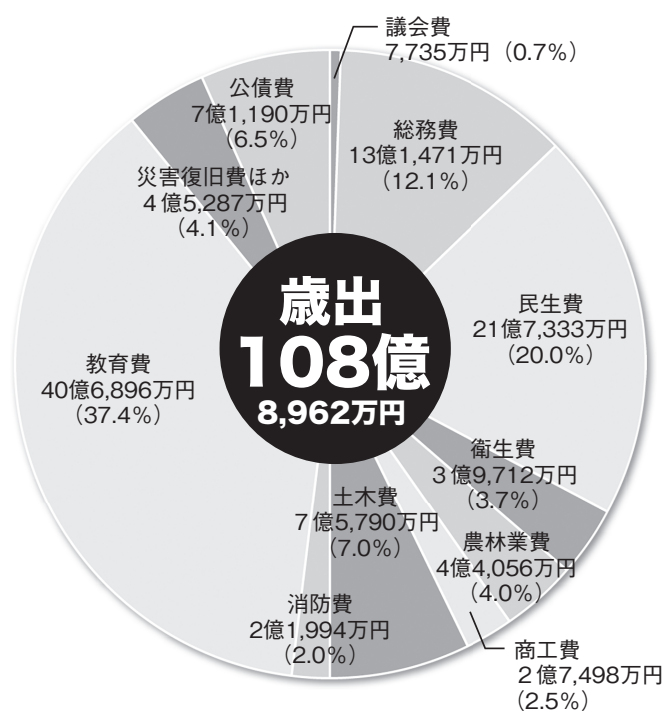
◎「ひこさんホテル和」施設管理事業

▶1億1,144万円

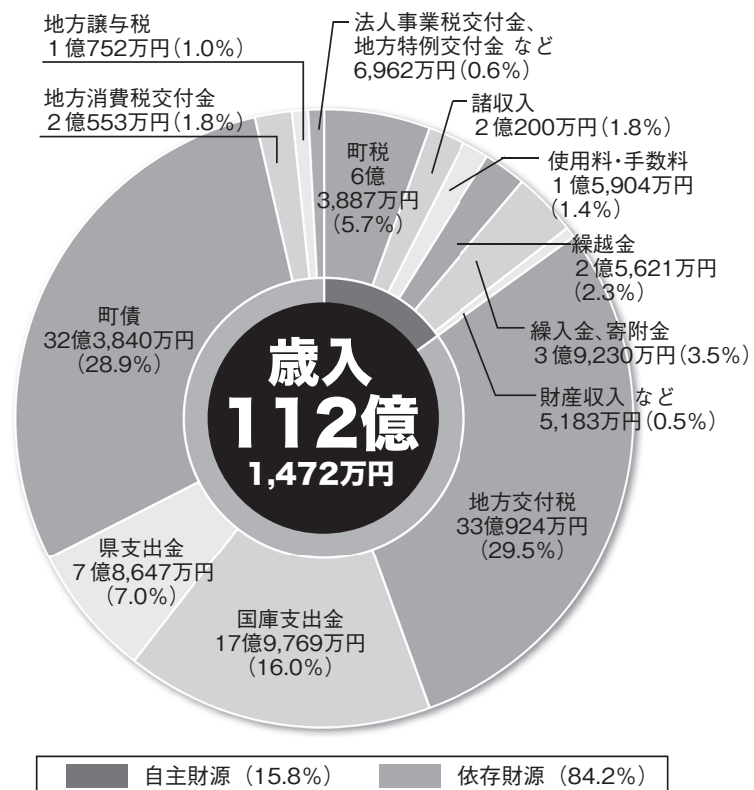
令和6年10月に営業再開した「ひこさんホテル和」。休館の原因となった老朽化したボイラーや空調などの整備工事を行いました



一般会計 歳出



一般会計 歳入



時間を気にせず、自宅で検査

大腸がん郵送検診が 今年も始まります

大腸がんは早期段階では自覚症状がほとんどないため、年に1度の検診がとても重要です。郵送検診は、検診会場などに出向くことなく自宅で検査できるとも便利な方法です。町の総合健診を受けることができなかった人は、この機会をぜひご利用ください。

▶**対象者** 令和7年度の添田町の大腸がん検診を受診していない、令和8年3月31日時点で40歳から69歳までの人

▶**料金** 500円

※生活保護受給者、非課税世帯の人は無料です。

▶**実施期間** 12月1日(月)～令和8年2月27日(金)

▶**申込期間** 11月4日(火)～令和8年1月30日(金)

▶**検査の流れ**

①申し込み…電話、FAX、インターネットから検診委託先のくるめ病院に申し込みください

※生活保護受給者、非課税世帯の人は役場健康子育て応援課健康・子ども保健係の窓口（庁舎別館）で申し込みください。

電話 平日9時から17時までの間に、くるめ病院（☎0942-43-5199）へ「添田町大腸がん検診の申し込み」と伝えてください

FAX 氏名、住所、性別、生年月日、日中連絡の取れる電話番号を記載し、くるめ病院にFAX（0942-43-6959）してください

インターネット スマートフォンなどで右の二次元コードを読み取り、必要事項を入力してください



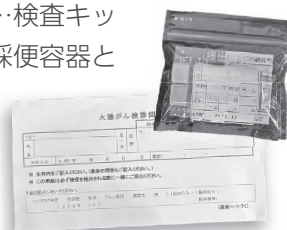
②検査キットが自宅に到着…検査キットが届いたら 採便後、採便容器と問診票を同封の返信用封筒で返送ください

③検診料金の支払い…検査キットに同封の振込用紙

を使って、郵便局で検診料金をお支払いください

④結果の通知…約3週間後に、自宅に結果が郵送されます

※検診の結果、精密検査が必要な場合は必ず医療機関を受診してください。



令和7年度女性に対する暴力をなくす運動

ひとりで悩まず まずは相談ください



毎年11月12日から25日までの2週間は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。この期間は、女性に対する暴力の問題に関する取り組みをより一層強化します。配偶者などへの暴力、デートDV、性犯罪・性暴力、痴漢、売買春、人身取引、ストーカー行為、セクシュアルハラスメントなどは重大な人権侵害であり、性別を問わず決して許されません。被害を受けた人は悪くありません。プライバシーや秘密は守られますので悩んでいる人は、年齢・性別を問わず安心して相談ください。

相談先

▶**配偶者・交際相手からの暴力**

▷DV相談ナビ／＃8008

▷DV相談プラス／☎0120-279-889

▶**性犯罪・性暴力**

▷性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター／＃8891

▶**ストーカー被害・売春強要・人身取引**

▷困難な問題を抱える女性の相談窓口／＃8778

▶**性犯罪に係る被害や捜査**

▷性犯罪被害相談電話／＃8103

▷警察庁匿名通報ダイヤル／☎0120-924-839

▶**職場におけるセクシュアルハラスメント**

▷福岡労働局／☎092-411-4894

※今すぐ警察官に駆けつけてもらいたいような緊急の場合は、110番に通報してください。

DVや性暴力に気づいたら、相談されたら

自分の考えや気持ちを押し付けず、まず寄り添って話を聞くことから始めてみましょう。そしてどんな時も「あなたは悪くないよ」と伝えてください。また相談できる窓口があることも伝えてください。

☎ 役場総務課男女共同参画推進係（☎82-1231）



11月・12月は福岡県下一斉徴収強化月間です ストップ滞納！悪質滞納は見逃しません！！

町 税や住宅使用料などの滞納は、町の財源を圧迫し、福祉や教育などの住民サービスに影響を及ぼします。税金の滞納は、社会全体の公平性を失わせる行為です。税金を納めることができる資力・財産があるにもかかわらず、自主的に納付しない悪質な滞納者に対しては、公平性を守るために財産差押などの厳しい対応を進めます。

☎ 役場住民課税務・滞納対策係（☎82-1234）



◆予告なく滞納処分を実施します

「払えるのに払わない」「納付約束を守らない」という悪質な滞納者に対しては、地方税法や国税徴収法の規定に基づき、滞納処分を行います。

○督促状・催告書の発送

指定の納期限を過ぎても納付がないときは地方税法の規定に基づき督促状を送付します。その後も納付がないときは、催告状などを送付し、自主的な納付や納付相談を促します。届いた書類は必ず開封して内容を確認ください。



○財産調査・差し押え

督促や催告に対して自主的な納付や納付相談がない人には、給与、年金、預貯金、生命保険、不動産、自動車の所有状況などの財産調査を行います。財産を発見した場合は、事前の連絡なく差し押えやタイヤロックなどの滞納処分を行います。



差し押え実績	件数	総額
令和6年度	22件	2,250,152円
令和7年度（9月末まで）	11件	413,997円

◆滞納処分 Q & A

Q1 事前連絡や納税者の同意なく財産を差し押さえるのは、違法ではないですか？

A1 地方税法などでは「督促状を発した日から起算して10日を経過した日までに完納しないときは、財産を差し押さえなければならない」と規定されています。差し押えは、事前連絡や納税者の同意を必要としない、正当な行政処分です。

Q2 住宅ローンや自家用車の借金があり、滞納しているのはわかっているが納付できません。

A2 借金はあなた個人の自由意志で、自らの収入と生活上必要な経費とのバランスを考えて借り入れたはずで、法律ではすべての債務（借金）よりも税金を優先することになっています。借金が原因で納税ができないというのは理由になりません。



◆納期限までに納付困難なときは相談を

納付が困難な場合は納付相談を通して、現在の生活状況を聞き取り、完納に向けた納付計画と一緒に考えます。相談時には預金通帳など生活状況の分かるものを持参してください。相談は電話でも受け付けています。滞納になる前に早めに相談ください。

◆便利な口座振替をご利用ください

口座振替は、町税や水道料金などを指定された預貯金口座から引き落とす制度です。「忙しくて、なかなか納めに行けない！」といった悩みを解消できます。金融機関に申込用紙はありませんので、口座振替を希望する人は役場住民課税務・滞納対策係まで連絡ください。



◆次代を担う児童が税の意義や役割を学ぶ

9月29日、添田小学校6年生を対象に住民課職員が講師となり租税教室を開催しました。授業では、年齢に関係なく買い物をするときに負担する消費税などの身近な税の紹介や、税金がなくなった世界を想定した映像の視聴などを行いました。授業を終えた児童たちからは「税金が50種類もあることに驚いた」「税金に興味がでてきた」「税金は身近なことに役立っていることがわかった」などの感想が聞かれ、税金の大切さを学びました。



◆税を考える週間「これからの社会に向かって」

毎年11月11日から17日までは「税を考える週間」です。この週間は、国民生活に深いかかわりを持っている税の必要性や役割などを説明するとともに、税に対する理解を深めるために設けられています。私たちの暮らしを支える税について、この機会に考えてみましょう。詳しくは、国税庁ホームページで確認ください。

☎ 田川税務署（☎44-0430）

国税庁ホームページ↑





オークホール玄関が鮮やかな空間に シニアパワーアップ塾ボランティア活動

10月3日、シニアパワーアップ塾の皆さんが、オークホールで花の寄せ植えを作りました。11月1日、2日に開催される町総合文化祭に向けて、来館者に楽しんでもらおうと寄せ植え作りを企画。ピオラやケイトウなどの花で、高低差をつけ配置を工夫した寄せ植えを10鉢ほど作り、玄関やロビーに彩りを加えました。

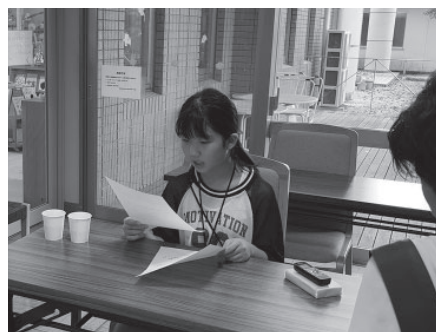


↑塾生はオークホールで随時募集しています

図書館を支える大切な仕事を体験

町立図書館ボランティアスタッフ体験

町立図書館で10月4日、5日、11日の3日間、小学校高学年と中学生の希望者8人が図書館ボランティアスタッフ体験を行いました。参加者は図書館のスタッフに教わりながら絵本の修理や布の絵本の制作を体験。声の広報そえだの録音体験を行った岩切愛璃さんは「緊張したけれど楽しかった」と笑顔を見せていました。



↑「ゆっくり・はっきり」に注意して録音した岩切さん

至福の音色がオークホールに響き渡る

福岡県A I R事業ミニコンサート

オークホールで9月28日、バイオリニスト西本幸弘さんと大井駿さん（ピアノ）、吉岡知広さん（チェロ）を迎え、ミニコンサートが開かれました。交響曲第6番「田園」（ベートーベン）など10曲ほどが演奏され、聴衆約100人を魅了していました。11月24日にもカフェクロマティックでミニコンサートが開かれる予定です。



↑客席を歩きながらバイオリンを演奏する西本さん

みんな夢中に！感性を育む楽しい人形劇

地域子育て支援センター人形劇観劇会

町地域子育て支援センター主催で、北九州を拠点に活動するドラさんによる「人形ボードヴィル」が開かれました。ボードヴィルは音楽にあわせいろいろな人形が踊る人形劇で、乳幼児や保護者、町内の保育園児約160人が参加。ピノキオなどの人形が舞台や客席を駆け回る劇に園児たちは「めっちゃ面白い」とはしゃいでいました。



↑人形に触れたり一緒に踊ったり、楽しむ園児たち

地域で見守り、野球で育む心と体

第23回少年野球大会

10月8日、田川警察署少年補導員添田支部・大任支部が合同で主催する少年野球大会が開かれました。今年は大任町の無限と対戦した添田フリース。開会に先立ち少年補導員藤井会長が「野球を通じて強い体と強い気持ちを養ってください」と挨拶。ナイターで行われた試合は6対0で添田フリースが勝利しました。



↑フリースでは体験入部火・木曜日7時～サンスポも受付中です

児童館がニュースポーツ会場に

児童館わくわく☆イベントデー

10月18日、児童館でニュースポーツ大会が開かれ20人の児童が参加しました。走ったり跳んだりせず、年齢や体力に関係なくルールも簡単で誰もが楽しめるニュースポーツ。3班に分かれ囲碁ボール、オーバルボール、バツコーの競技を交代で楽しみました。参加した児童は「とっても楽しかった」と笑顔を見せていました。



↑手前で「囲碁ボール」、奥で「オーバルボール」を楽しむ児童

「だまされないで」思いをポスターに 令和7年度防犯ポスター表彰式

10月17日、田川警察署で防犯ポスターコンクールの表彰式が行われ、^{そまとも} 杣友彩未夢さん（添田小4年）が田川警察署長賞に、^{あいり} 岩切理永さん（添田小2年）が添田大任地区防犯協会長賞に選ばれました。このコンクールは、防犯意識向上を目的に田川管内の小学生を対象に実施され13回目の開催となります。ニセ電話詐欺防止を描いた杣友さんは「お金で騙されないように」と思って描きました。お金の詐欺には気を付けてください」と、防犯標語いかのおすしを描いた岩切さんは「防犯教室でもらったパズルを見て描きました。将来は警察官になりたいです」と笑顔で話してくれました。



↑表彰式で(左から)平田副署長・田川警察署長・岩切さん、杣友さん、寺西署長。ポスターはサンリブ田川店に展示されます

危険な運転から自身を守る

秋の交通安全町民運動

9月21日からの10日間、町では秋の交通安全町民運動を実施しました。25日は町内で街頭啓発キャンペーンを行い、安全運転を呼びかけ、26日は高齢者を対象に交通安全教室を開催しました。田川警察署宮崎係長から県内や町内で発生している交通事故の件数や事例を聞いた後、ホンダモビリティ九州の斎藤一基課長による講習が行われ、危険予測ボタンを使って運転映像を見ながら「危ない」と感じたタイミングで押す体験をしました。危険箇所の解説や、事故を防ぐにはいつ危険を察知すべきかなどの具体的なポイントが紹介され、参加者は真剣に聞き入っていました。



↑参加者は年齢を重ねると判断のタイミングが遅くなりがちであることを再確認していました

地域でつながるグラウンドゴルフ交流会

田川郡老人クラブ連合会交流会

10月17日、田川郡老人クラブ連合会のグラウンドゴルフ交流会がそえだスポーツランドで開催されました。添田、赤、香春、川崎、糸田の老人クラブ会員68人が4人1チームで分かれ競技を楽しみました。上位入賞者は表彰され、添田からは2位の飯田トモエさん、5位の樋口啓一さんら4人が表彰を受けました。



↑各町村の会員が混ざったチームで交流を深めました

たくさんの木のおもちゃと触れ合う1日

木のおもちゃキャラバン感謝祭2025

10月11日から3日間、英彦山スロープカー本館2階で木のおもちゃキャラバンが開催されました。木製の大型からくりおもちゃやジャングルジムなどが用意された会場で、2メートル以上の積み木を積み上げた鳥栖市から訪れた^{しょうじひろと} 荘司裕人さんは「積み木をこんなに高く積み上げたのは初めて。楽しかった」と笑顔でした。



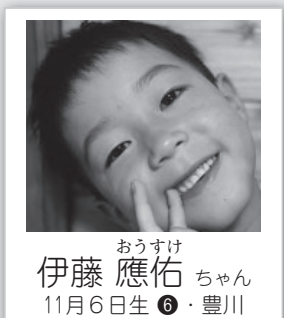
↑(左)手が届かず苦戦する荘司さん。(右)モルックも楽しみました

11月生まれ HAPPY BIRTHDAY

おめでとう



4歳のお誕生日おめでとう♪お兄ちゃんになった凜ちゃん！いつも蓮之介のお世話をしてくれてありがとう♪凜ちゃん大好き♡



おうちゃん6歳のお誕生日おめでとう！優しくて弟思いなおうちゃん♡保育園生活最後までさん思い出作ってね♡



4歳のお誕生日おめでとう♡オムツも外れ、お喋りも仕事もすっかりお姉ちゃんらしくなったね。ヒカリ大好きだよ♡

未就学児のお子さんの
写真を募集します

- ①お子さんの写真
- ②お子さんの氏名
- ③名前の読み方
- ④誕生日 ⑤年齢
- ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内)
- ⑧保護者の連絡先を送信してください。

12月生まれの締め切りは、
11月14日(金)です。

送信先
koho@town.soeda.fukuoka.jp
☎ 役場総務課広報・秘書係(☎82-4000)

地域子育て支援センター 11月の予定

★おんぶに抱っこマルシェ2025 in 児童館・図書館
▷12日/年に一度のお楽しみ企画☆今年はいろいろなワークショップがあります。お楽しみに！

★サークル「めだかつこ」(毎週火曜日)
▷11日/ボール遊び ▷18日/新聞紙遊び(給食)
▷25日/布おもちゃ遊び(給食)

★サークル「おんぶに抱っこ」(毎週金曜日)
▷7日/シール遊び ▷14日/風船遊び
▷21日/乗り物遊び ▷28日/ヨガ講座

★ベビーサークル「あっぱっぴ」
▷5日 ▷19日/虹の会読み聞かせ

★マタニティサークル「ポコ・ア・ポコ」▷13日
※詳しくは「おんぶにだっこ通信」をご確認ください。

☎ 添田町地域子育て支援センター(☎85-0888)

さくら環境センターからのお知らせ

トラブル防止のため ご協力をお願いします



◎ごみの搬入前に役場での申請受付が義務化されます

12月1日(月)から、さくら環境センターに直接ごみを持ち込むときは、事前に役場窓口での申請が必要となります。役場の受付がないまま、さくら環境センターに行くと、ごみの搬入を拒否されますので必ず役場福祉環境課で申請をお願いします。申請の際は、搬入する車にごみを積んだ状態でお願いします。搬入申請書は、役場窓口または町ホームページで取得できます。



↑搬入申請書はこちらから

◎処理できないごみの搬入はできません

さくら環境センターでは、処理できないごみが原因で、施設の稼働が16時間にもわたり停止する事態が発生しました。さら



↑施設の稼働停止の原因となった処理できないごみ

に、リチウムイオン電池による小規模な火災も繰り返し発生しています。施設の稼働が停止すると、ごみの受け入れができなくなり、最終的にはごみ収集を中止する可能性もあります。

「このくらい大丈夫だろう」との安易な判断が田川地域全体のごみ処理の停止につながる可能性がありますので注意してください。家電4品目やバッテリー、農薬、火薬類、長さ50cm・直径10cm以上の木材などは処理できないごみです。ごみの出し方に不明な点がある場合は、町ホームページなどで確認、または役場福祉環境課に問い合わせください。ごみの適正な分別・搬入にご協力をお願いします。

☎ 役場福祉環境課環境保全係
(☎82-1232)



↑町ホームページ「ごみのあれこれ」

◎介護予防講演会を開催します

☎ 役場福祉環境課高齢者支援係(☎82-1232)

MC I (軽度認知症) ってどんな病気？

上手につき合う方法



▶とき **12月2日(火) 11時~12時**
(受付10時30分~)

▶ところ オークホール

入場無料
申込不要



講師 櫻井孝さん
(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター研究部長)

MC I とは、正常な状態と認知症の間の段階にあたる状態です。認知症に進行することもあります。正常な状態に回復することもあります。最近、MC I の人の認知症状の進行を遅くする薬が登場しました。また、研究の進歩により薬を使わない予防法もわかってきました。講演会では、最新のエビデンス(根拠)に基づいたMC I と上手につき合う方法を紹介します。何となく不安をもって暮らすのではなく、MC I のことを知り、生活を少し変えるだけで認知症を予防する工夫を始めてみませんか。

認知症予防教室に参加してみませんか

最新の研究で認知症予防効果が期待されるプログラムがわかってきました。国立長寿医療研究センターとの研究に関する連携協定に基づいて、最新のプログラムを試験的に実施するため、来年度から認知症予防教室を開催します。



- ▶実施期間 令和8年4月から2年間
- ▶対象者 町内在住の60歳~80歳で、令和6年度の特健診・後期高齢者健診の結果が、血圧が正常より高い人、または血糖値が正常より高い人
- ▶参加方法 対象となる人に、令和8年1月に開催予定の説明会の案内を郵送します。参加を希望する人は、まず説明会に参加してください
- ▶参加費 無料

- ▶教室の内容
- ▷令和8年4月~令和9年3月
頭と体の状態が詳細にわかる健康測定会の実施や健康に役立つ情報の提供
- ▷令和9年4月~令和10年3月
週1回、多因子介入プログラム(筋力トレーニングやエアロビクスダンス、認知トレーニング、認知症予防に必要な知識を学ぶ講座など)を実施

文芸歳時記

【短歌 投稿】

足元に猫が添寝か「く」の字にて

同じ姿勢と吾子来て笑う

櫻木マサ子

幼き日に遊びし丘の柿落葉

散り敷くさまを飽きず見てをり

独活山強実

諦めず歩いてゆくよこれから

見上げた空に光る虹色

佐藤 直

給付消へ首のすえ替献金こそが

政局米も菜もとんで

柳瀬 一徳

俱にあり夢見心地で過ぎた日々

独り受け取る暮らし不可思議

西村 宗雪

クラス会喜寿迎えたとき等は

吾れと同じ姿して笑う

久保田克利

【俳句 投稿】

霧晴れて山紫水明豊前坊

突然に水嵩高く帰省かな

早咲きし椿の葉にぞ空蟬や

柳瀬 満子

「添田」の名大主命が田を「添えた」

「鬼杉」はスギの杖刺し鬼が逃げ

原田 祥二郎

◎12月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

11月14日(金)までに役場総務課に連絡してください。

※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

☎ 役場総務課広報・秘書係(☎82-4000)

試験・募集

自衛官等採用試験

【高等工科学校生徒（推薦）】

▼試験日 令和8年1月10日（土）

5/12日（月）のうちいずれか1日／筆記試験・口述試験・身体検査



▼受付締切 11月28日（金）

【高等工科学校生徒（一般・一次）】

▼試験日 令和8年1月24日（土）

または25日（日）／筆記試験

▼受付締切 令和8年1月15日（木）

※受験資格など、詳しくは問い合わせてください。

自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所

（☎0948-22-4847）

公共職業訓練生（1月生）を募集します

離職などで再就職を希望する人を対象に、専門知識や技能を学ぶ6か月間の訓練です。

▼訓練期間 令和8年1月6日（火）～6月29日（月）

▼訓練科名 機械CADオペレーターシヨン科／定員12人、ビル管理技術科／定員15人、住宅リフォームCAD技術科／定員15人、建設機械科／定員15人、ビジネスワーク科／定員15人



▼対象者 公共職業安定所（ハローワーク）に求職を申し込みしている人
▼受講料 無料（教科書・作業着などは自己負担）
▼申込方法 公共職業安定所（ハローワーク）に申し込み
▼募集期限 12月4日（木）
▼入所選考 12月10日（火）／筆記および面接
●施設見学会・説明会
▼とき 11月18日（火）、12月3日（水） いずれも13時から2時間

地域おこし協力隊通信

Vol. 36



○新たな視点で
さらに魅力的なまちへ

岩丸康平隊員活動スタート!!

初めまして。添田町地域おこし協力隊として10月1日から活動を始めました、岩丸康平です。添田町出身で、9月まで宇美町の福祉施設に勤めていましたが、この度Uターンで戻ってきました。「観光資源プロモーター」として、道の駅歓遊舎ひこさんロビーに新しくできるビジターセンターの運営、添田町や歓遊舎ひこさんエリアへの集客、添田町のPRにつながるイベントの企画・運営、SNSなどで特産品や観光情報などの情報発信を行っていききたいと思います。20代前半で人生経験は浅いですが、若さを武器にした新たな視点やアイデアで生まれ育った添田町の魅力を発信していきます！カフェ運営やイベント、SNS動画で添田町の魅力を発信し、添田町を訪れた人が「また来たいな」と思えるような体験や空気感をビジターセンターで作ってきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。



↑歓遊舎ひこさんロビーに建設中のビジターセンター。11月中旬頃オープン予定です。

関 役場商工観光振興課商工観光振興係
（☎82-1236）

戦没者遺児による 慰霊友好親善事業

先の大戦で父などが戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を実施するとともに同地域の住民と友好親善をはかり、恒久平和な社会の構築を希求することを目的に実施します。今年度をもってこの事業が終了します。ぜひこの機会にご参加ください。



▼実施地域 ミヤンマー
▼参加費 10万円
▼参加資格 戦没者遺児
▼申込締切 12月5日（金）
※詳しくは問い合わせください。
関 福岡県遺族連合会
（☎092-761-0012）

相談

労働のお悩み出張相談会

解雇や賃金、パワハラ・セクハラなど仕事をする中で困りごとはありませんか。秘密は固く守られますので労働者・事業主関係なく、仕事をする中で悩みのある人はこの機会に労働相談を利用してみませんか。

▼とき 11月12日（水）

10時～16時

▼ところ 田川市役所

▼相談料 無料

▼予約締切 11月11日（火）15時

関 福岡県筑豊労働者支援事務所
（☎0948-22-1149）



日曜労働相談会

賃金のトラブル、解雇、パワハラなど働く上での問題や悩みを抱えた労働者、労働問題を抱えた使用者からの疑問に答えます。相談は無料で秘密は固く守られます。ひとりで抱え込まず気軽に相談ください。

▼とき 11月16日（日）10時～18時（受付17時30分まで）

▼ところ 福岡県筑豊労働者支援事務所（飯塚市）

ケアカフェむうげん

▼とき 11月16日（日）10時～12時（開場9時30分）

▼ところ 香春町民センター

▼内容 ①講演「食品による脳のアンチエイジングの可能性」 ②グループトーク ③むうげんからのお知らせ

▼定員 50人／金芽米1kgプレゼント

▼申込締切 11月11日（火）17時

関 特定非営利活動法人むうげん（☎45-7507）

福岡県ジェンダー平等フォーラム2025

▼とき 11月22日（土）

▼ところ クローバープラザ

▼対象者 どなたでも

▼内容 マスシャルトーク／ゲスト／庄司智春さん、MC／細谷めぐみさん）▽第24回福

イベント

▼対象者 労働者、事業主
▼相談方法 電話または来所面談／予約優先
※相談内容により弁護士相談も連携して行います。

関 福岡県筑豊労働者支援事務所
（☎0948-22-1149）

関 福岡県男女共同参画表彰式 ▽高校生×ジェンダー平等ワークショップ成果報告会など
▼参加費 無料／事前申込不要
※一部、予約が必要な有料の企画があります。
※イベントの詳細は、あすばるのホームページで確認ください。



福祉の仕事体験イベント「フクシラボふくおか」

▼とき 11月22日（土）13時30分～16時30分

▼ところ JR九州ホール

▼内容 看護師・介護福祉士・保育士・管理栄養士の仕事体験、社会福祉士サングァーによるヒーローショーなど

▼対象者 福岡県内の小学生とその保護者

▼参加費 無料

▼要事前申込

※詳しくは福岡県社会福祉協議会のホームページで確認ください。



↑申し込みはこちらから

関 福岡県社会福祉協議会

セミナー

議会福祉人材センター
（☎092-584-3310）

第12回筑豊 アディクシオンフォーラム

▼とき 11月23日（日）10時～16時30分（受付9時30分～）

▼ところ 直方中央公民館

▼内容 ①講演「親の支援、子の支援」 ②依存症の子を持つ親、依存症の親を持つ子の支援から見たもの／講師 堀井智帆さん（スクールカウンセラー） ③当事者・家族の体験発表 ④自助グループの活動紹介

▼対象者 依存症に関わる当事者およびその家族、医療従事者、行政職員、その他興味のある人

▼参加費 500円／申込不要

関 筑豊アディクシオンネットワーク実行委員会山方さん
（☎090-1979-6273）

福岡県社会福祉士会
県民向け福祉セミナー

▼とき 12月13日（土）13時30分～15時

▼ところ オンラインZOOM

関 福岡県社会福祉協議会福祉人材センター
（☎092-584-3310）

▼講演 「心のバリアフリーを求めて」 視覚に障がいのある杉本梢さんとともに考える、共に生きる社会

▼講師 杉本梢さん（一般社団法人日本心のバリアフリー協会代表理事）

▼申込方法 二次元コードを読み取り

必要事項を入力して申し込み

▼定員 100人／参加無料

▼申込方法 11月30日（日）

関 公益社団法人福岡県社会福祉士会事務局
（☎092-483-2944）



介護のお仕事復帰セミナー

▼とき 12月21日（日）11時～16時

▼ところ ウェルとばた

▼内容 介護技術の復習（講義・実技）

※就職支援専門員の相談コーナーもあります。

▼対象者 介護福祉士または介護関係研修課程修了者で、現在、介護分野に就業していない人

▼定員 先着40人／参加無料

▼申込締切 12月7日（日）

関 福岡県社会福祉協議会福祉人材センター
（☎092-584-3310）



人の動き

●人 口	8,135 人（－7 人）	●出生	0 人
●男 性	3,847 人（－4 人）	●死亡	13 人
●女 性	4,288 人（－3 人）	●転入	29 人
●世帯数	4,331 世帯（＋1 世帯）	●転出	23 人

相談

- 心配ごと相談（そえだジョイ／10時～15時）
11月18日(火)、12月2日(火)
 - 補聴器相談（役場ロビー）
11月14日(金)（15時～）、11月18日(火)（13時～）
 - 無料法律相談
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
11月11日(火)、12月9日(火)
- ※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
 田川法テラス福岡（☎050-3383-5502）
- こころの健康相談（田川保健福祉事務所／予約制）
11月11日(火)（10時～）、11月27日(木)（14時～）
- 田川保健福祉事務所健康増進課（☎42-9307）

納期限のお知らせ

- 12月1日(月)が納期限です
 - ▷固定資産税（4期）
 - ▷国民健康保険税（5期）
 - ▷後期高齢者医療保険料（5期）
- ※口座振替は11月25日(火)です
 田川役場住民課税務・滞納対策係（☎82-1234）

警察署からのお知らせ

- 女性に対する暴力対策の推進
DV、ストーカー、リベンジポルノなど、恋愛感情のもつれなどが原因で、殺人などの重大事件に発展する事案が相次いで発生しています。この種の事案は「繰り返す」「エスカレートする」「事態が急展開する」という特性がある一方、身近な人からの被害が多く潜在化してしまいたく、確かな対処が遅れる恐れがあります。危険性を十分理解し、自己防衛するとともに早期に相談しましょう。

8月の事故発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
物件事故	18(+ 6)	104
人身事故	1(+ 1)	13
死亡者	0(± 0)	0
負傷者	1(+ 1)	17

田川警察署（☎42-0110）

新規採用職員のご紹介

- 10月1日付／5人
 - ▶健康子育て応援課主事 二尾貴美子
 - ▶水道課主事 後藤龍威
 - ▶住民課主事 谷拓郎
 - ▶住環境整備課主事 久保山朔灯
 - ▶道路整備課主事 山口智哉
- 田川役場総務課総務係（☎82-1231）

今日も、誰かが誰かを支えている

献血にご協力ください



- ♥とき 12月4日(木) 10時～12時30分
13時30分～16時
- ♥ところ 添田町役場
- ♥対象者 体重が50キログラム以上の人で、
男性 17歳～69歳、女性 18歳～69歳
※65歳以上の人は、60歳～64歳に献血の経験がある人。

田川役場健康子育て応援課
健康・子ども保健係（☎31-5001）

計算して、確実に支払われるため安心・安全です。また、電子ポイント方式の活用で手続きが便利になっています。電子ポイント方式では共済証紙に代わる「退職金ポイント」を電子申請専用サイトで事前に購入し、就労日数を登録することで、個々の被共済者に掛金を充当できます。事業主は、共済証紙の購入・貼付・消印および現物管理が不要となります。また、共済手帳の新規申し込みなどの手続きもオンラインで行うことができます。詳しくは建退共ホームページ



田川保健福祉協議会へ
 ▼香典返し ▼福岡和子（英彦山）▼福岡渡邊保雄・福岡渡邊力子（栴田）▼福岡林靖子（伊原ヨ子）栴田）▼福岡林靖子（伊原ヨ子）栴田）
 （令和7年10月15日現在）

田川保健福祉協議会へ
 ▼香典返し ▼福岡和子（英彦山）▼福岡渡邊保雄・福岡渡邊力子（栴田）▼福岡林靖子（伊原ヨ子）栴田）
 （令和7年10月15日現在）

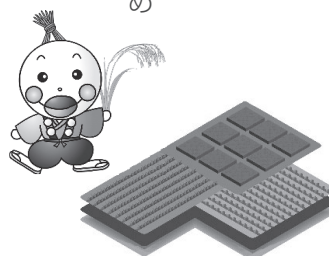


大村幸さんを新たに教育委員に任命しました

大村幸さん（町四）が9月3日に開催された令和7年第3回添田町議会定例会で教育委員任命の同意を受けました。任期は、令和7年10月1日から令和9年10月20日までです。

田川教育委員会学校教育課学校教育係
 （☎82-5963）

農業委員会報告
 【10月10日(金)開催 総会審議結果】
 ▼農地法第3条にかかる所有権の移転
 ・・・2件／面積4283㎡を許可
 ※12月開催の総会にかかる農地申請の締め切りは、11月25日(火)です。
 田川添田町農業委員会（☎82-1237）



要支援者の実態調査を行います
 町では11月から令和8年3月にかけて要支援者（災害時などの避難行動要支援者、および見守り支援が必要な人）の実態調査を実施します。現在、要支援者台帳に登録している人の自宅に、調査員である町社会福祉協議会の職員が訪問しますのでご協力をお願いします。また、新たに



お知らせ

要支援者台帳への登録を希望する人は、役場まで連絡してください。
 田川役場福祉環境課高齢者支援係
 （☎82-1232）
 役場防災管財課防災安全係
 （☎82-4002）

平日夜間のHIV・梅毒
 臨時検査を実施します
 12月1日は「世界エイズデー」です。HIV検査の促進のため、平日夜間に臨時検査を実施します。検査は無料で、匿名で受けることができます。この機会に検査を受けてみませんか。
 ▼とき 11月28日(金)18時～19時
 ▼ところ 田川保健所別館2階

▼予約方法 ①電話（42-9379） ②WEB（田川保健所HIVで検索または2次元コードから）
 ※結果は即日（採血から1時間後）判明します。
 田川福岡県田川保健福祉事務所保健衛生課感染症係
 （☎42-9379）

12月1日は個人事業税
 第2期分の納付期限です
 個人事業税は、生活と産業の発展を支える社会基盤の整備や自然災害に備えた防災・減災・県土強靱化に役立てられています。忘れずに納付期限内に納め



田川飯塚直方県税事務所事業税係（☎0948-214903）

指名手配被疑者の
 検挙にご協力ください
 令和7年8月末現在、全国の警察から窃盗や詐欺などの事件に関与した約590人が指名手配されています。警察では、11月中旬に全国警察の総力を挙げて犯人の早期検挙を目指し、追跡捜査を強化しています。捜査活動には国民の皆さんの協力が必要です。指名手配の犯人によく似た人を見かけたな



田川警察署（☎42-0110）

建設業の退職金なら
 建退共制度！
 建退共制度は、建設現場で働く労働者のために「中小企業退職金共済法」という法律により、国が作った退職金制度です。事業主が、建設現場で働く労働者の働いた日数に応じて、掛金を充当し、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うという、業界全体での退職金制度です。退職金は国が定めた基準により

くらしに役立つ情報満載 Information

芸術の秋を満喫しませんか

中島家住宅イベント情報

国指定重要文化財中島家住宅では、毎月さまざまなイベントを開催しています。入館料は無料です。ぜひお越しください。
 【開館日】 水曜日～日曜日の10時～16時
 ※月曜日と火曜日が祝日の場合は開館します。

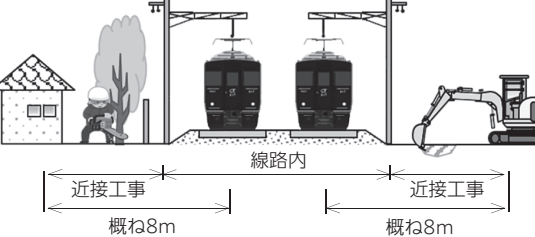
【展示会】
 ▷鑑月焼 藤本土牛遺作展
 10月25日(土)～11月16日(日)
 ▷Amiberの文化祭
 11月19日(水)～24日(月)
 ※ワークショップも開催します。

【1日限定特別イベント】
 ▷霜月お抹茶の宴
 11月12日(水) 12時～15時
 田川添田町活性化推進協議会廣田さん
 （☎090-1875-3111）

J R九州からのお知らせ

鉄道近接工事にご注意ください

鉄道に関する事故は、一歩間違えれば脱線事故や感電事故など、大惨事を引き起こす可能性があります。建物の建設・解体、庭木や山林の木の伐採、測量作業など、線路に近接した作業を行う場合は、安全に関する打合せを行いますので、事前にJ R九州へ相談ください。



※作業内容や環境条件、使用重機によっては8m以上の場合でも鉄道近接工事の適用となる場合があります。
 ※工事、作業により列車の運行や鉄道施設に影響があった際には、損害賠償を請求する場合があります。詳しくはJ R九州ホームページで確認ください。



田川J R九州門司保線区（☎093-521-7355）

おいしい・たのしいが満載！！

小雨決行！！

ふる里まつり

今年も町内の特産品や、姉妹町である北海道美深町のじゃがいもやかぼちゃの販売を行います。オープニングセレモニーは、恒例の餅まきからスタート。町内の保育園児による演奏、添田町PR大使・毛利蘭さんのステージなど盛りだくさんの内容です。ぜひご来場ください。

11/29(土) 9:30~16:00

11/30(日) 9:30~15:30

とき

ところ

オークホール駐車場



←イベントの詳細は
SOEDA-NAVIを
確認ください

問い合わせ

役場商工観光振興課
商工観光振興係(☎82-1236)



町長室

朝夕の空気が澄み、山々が少しずつ秋色に染まりはじめました。英彦山の木々も紅や黄へと衣替えを進

め、まもなく一年で最も美しい季節を迎えます。こうした自然の豊かさに包まれた英彦山は、同時に千年以上の歴史と独自の文化を持つ、まさに「学びの宝庫」です。この魅力を次の世代へ、そして町の外へと広げるために、「英彦山フィールドスタディ」を本格的に展開してはどうでしょうか。▼フィールドスタディとは、実際の現場で学びを深める体験型の学習です。英彦山には、修験道の歴史、山伏文化、参拝道や奉幣殿といった文化財、さらには豊かな生態系と森が広がっています。これらを単に「見る」だけではなく、「体験し、学び、考える」プログラムとして組み立てることで、教育・観光・地域振興を一体化した新たなモデルに育てることができそうです。▼例えば、既に一部行っていますが、歴史分野では、修験道の行程を一部歩きながら、山伏の精神や役割をガイドが解説します。文化分野では、かつての坊舎を再生した建物で座学やワークショップを行い、英彦山が果たしてきた宗教・経済・文化の拠点としての役割を学びます。自然分野では、四季折々の森の生態を専門家と共に観察し、環境保全の重要性を体感します。▼これまで、これらについて、宿坊ありきで考えて来ましたが、坊舎を整備し宿坊として、多くの人を集めこれらを行う事を考えていましたが、まずは歴史・文化・自然を体系的にそれぞれのプログラムを提供し

活性化する必要を感じています。手順の問題でしようが、まず体系的なフィールドスタディが必要だと強く感じています。▼このフィールドスタディは、地域経済の活性化にもつながります。先日、青少年グローバル人材育成事業に参加した生徒が、町に対してこんな事を提案していました。年間20万人いる英彦山の登山客から儲ける手立てを考えてはとの事でした。まさしく、彼女らの目の付け所は素晴らしいものがあります。それに触発され考えまとめたのがこのフィールドスタディです。まだ、町内をはじめ役場の中でもオーソライズされていませんが、これはやらなければならないし、やるべきだと思います。▼年齢や目的に応じて考えてみました。小中学生には探検型の楽しい学習、高校・大学生には地域課題を考える探究型プログラム、一般の方には観光と学びを兼ねたツアーを提供できます。また、地域住民やガイド、研究者と協力し、英彦山ならではの「語り部」を育成することも重要です。▼宿泊や食、交通、文化体験など、地元の資源を活かした関連産業を広げること、地域経済の活性化につながります。特に宿坊整備などと組み合わせれば、滞在型の学びの拠点として発展することができそうです。▼英彦山の魅力は「歴史」「文化」「自然」が分かちがたく結びついていて、この価値を体験として提供し、町の未来をつくる力へと変えていくために、「英彦山フィールドスタディ」を進めてはどうかと考えます。今後の、添田町英彦山の活性化を考え、まとめてみました。

●火災に関する情報は☎ 42-0119 で確認ください。

UD FONT ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

広報
そえだ

令和7年11月号

11
2025



◇発行/添田町 ◇編集/総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 21-51 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ: <http://www.town.soeda.fukuoka.jp>

◇印刷/丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています